

令和4年度 第2回大府市生涯学習審議会概要

日 時 令和4年8月26日（金） 午後2時から午後3時10分まで
場 所 大府市役所 2階203・204会議室
出席委員 会長 池田逸夫、副会長 山内とよ子、
今井修、犬塚芳克、神田由美、館内三郎、大橋房代、松下裕子、
山本友和、井上啓子、石黒公子
欠席委員 滝川初成
事務局 副市長 山内健次、教育長 宮島年夫、
市民協働部長 信田光隆、
協働推進課長 大塚康雄、協働推進課担当課長 竹田守孝、
共長公民館長 古田功治、協働推進生涯学習係技師 佐々木宏孝
傍聴人 なし

1 副市長あいさつ

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が、なかなか落ち着かない。岸田首相が感染するなど、誰が感染してもおかしくない状況である。愛知県から「BA.5対策強化宣言」が発出されており、8月31日までの期間がさらに延長されるといった情報もある。本市においても、毎日200人以上の新規感染者の報告があり、危機的な状況である。市職員も、直近の2週間で正職員34人、会計年度任用職員25人が感染しており、さらに濃厚接触者もいることから、業務が滞ることがないように、引き続き感染対策を徹底していくこと、ワクチン接種を行っていくことが重要であるが、若い世代の接種率が低いことが懸念される。今年は、共長夏まつりをはじめ、各地区で夏まつりや盆踊りが行われた。3年ぶりの開催ということもあり、人出がすごかった。今後も、感染症対策を徹底した上で公民館まつり等の行事を実施していきたい。

2 会長あいさつ

暑かった今年の夏も、お盆過ぎから朝夕涼しさを感じ、過ごしやすくなってきた。新型コロナウイルス感染症の第7波も、2ヶ月ほど経過すると新規感染者数が下がっていくと思われる。昨年できなかった行事が、今年ではできるようになった。8月28日の日曜日に、あいち健康の森公園で、大府東浦花火大会が開催される。市民の皆様もたいへん楽しみにしていると思われる。10月中旬には、東海市を会場に社会教育委員を対象とした、東海北陸社会教育研究大会愛知大会が開催される。近いところなので多数の委員に参加してほしい。

3 議題

(1) 永田雅宜氏記念算数・数学講座「ながラボ」について（資料No.1）

事務局：資料No.1に基づいて説明

（委員）エントリーコースの「算数数学と友達になろう」の受講者が、定員70名に達しなかったのが残念に感じた。少なかった理由は何か。私は理由としてコロナ感染者の急増や、夏休みの最初の土曜日でいきなり勉強は避けたのかと考えたが、どのように分析をしているか。

（事務局）委員のご指摘のように、理由として、コロナ感染者が増え始めた時期にあったこと、夏休みの最初の土曜日であったことは理由として考えている。来年度の実施内容の検討にあたり、ご指摘の内容を考慮したい。

（委員）昨日、講座に参加し、様子を見ていた。検定問題だけでなく、大学の先生が数学の問題を楽しく考えることを話していた。ただ、話し方が子ども向けでなくて、かたいので雰囲気づくりに工夫が必要と感じた。検定問題の演習の時に、講師が用意した数学オリンピックで出される問題に取り組んだ子どもがいた。検定問題は学習の到達をみるものだが、発想を競う数学オリンピックで出題された問題を用意してくれていたのはよかった。受講生の中から検定を受検する子は多いと感じた。受験料の補助対象は3級以上だが、拡充することは考えられないか。

（事務局）検定は3級以上を対象としているが、拡充云々ではなく数学に強い子を育てたいという考えもあり、公民館講座を通じて実施しているため、今年度はこのような考え方で進めていく。

（委員）チャレンジコースは人気だということだが、キャンセル待ちの子は結局、受講できたのか。

（事務局）キャンセル待ちについては、サポートする学生の数もあるので、講師と相談し、1名追加した。

（委員）ながラボのPR方法は、どんな内容だったか。例えば、数学検定の問題をパネル化して掲出する方法はどうか。

（事務局）広報おおぶ、市公式ウェブサイト、学校を通じて案内チラシを家庭向けに配布、新聞、SNSを使用した。委員の提案は、次回以降に生かしたい。

(2) 健康お笑い事業「0BU-1 グランプリ 2022withメディアス」について（資料No.2）

事務局：資料No.2に基づいて説明

（委員）昨年、観覧してとても楽しかったし、下品なネタもなく、司会の芸人が市長に声をかけ、やり取りしている姿があるなど、「笑い」っていいなと感じた。コロナで外に出られないとか暗いニュースが多い昨今、笑いあえる空間があるのはよかった。今年も開催されるのを、子どもと一

緒に楽しみにしている。

(事務局) ネタに関しては、不快感を与えないよう、放送するメディアスも事前にチェックしている。

(委員) メディアスを使ってのお笑いも良いが、以前から取り組んでいる落語も取り込んで、一緒にやっていくことを一考してほしい。

(事務局) 落語など、子どもたちが以前から取り組んでいるものにもスポットライトがあたる事業も、今後展開していきたい。

(委員) アマチュアとプロの戦いとなり、結局プロが優勝することになるのか。アマチュアでも人材がいるのか。

(事務局) 昨年度は入賞9組の内、3組がアマチュアだった。誰でも挑戦できるよう、市民向けに市民芸人育成プログラムを展開している。その中からOBU-1グランプリに出場した方もいる。講座受講だけでは決勝に進むのは難しいので、今年度は趣向を変えて動画審査を導入し、決勝の舞台へいける人を増やしたいと考えている。出場者応募に際して、落語の大府の笑学校の方にも声かけはしているが、落語と漫才は少し違うので応募は難しい状況である。小学生のコンビが出場した例もあるので、少しずつ輪を広げていきたい。

(3) 令和4年度公民館まつりの開催について(資料No.3)

事務局：資料No.3に基づいて説明

(委員) 私が関わっている森岡公民館で、事前の打ち合わせがあったが、バザーについて意見が割れている。公民館まつりはどこでも同じような内容なので、統一した考えを示してほしい。結局、森岡は食品バザーを取りやめにした。食品のテイクアウトは、公民館まつりでの食品バザーの目的のひとつは集い語らうことであることから、疑問である。亚克力ボードが必要なかどうかといったバザーの実施に必要な方針を、早めに出してもらいたい。地域のことは地域でと言われると消極的な議論になってしまう。

(事務局) 感染者が少ない4月当初は、去年できなかった部分は今年度できるようにと各館に話をしていたが、第7波で感染が拡大してきたことで、準備をしていたところも、飲食を取りやめるところも出てきた。結果として、温度差が出てきてしまった。

(委員) 公民館まつりについて市の代表の方と公民館の代表の方が意見交換する場を設けたらどうか。例えば、飲食するなら亚克力ボードを必要とし、それを開催日が早い公民館が準備して順番に利用していくなど負担を減らす努力をする。また、館同士の情報交換などで知恵を出し合っ

どうか。

(委員) 飲食バザーをすることは共通認識で、その内容については共長公民館では事前に話があった。飲食バザーはやるという前提があって、その次はテイクアウトにするとか中止にするかは地域で考えていく。そのことは各館ごとにある公民館まつりの実行委員会で決めることだと思う。今年の方針は、出されていると理解している。

(事務局) 毎月開催している館長会で情報提供や聞き取りを行っている。公民館まつりについても、4月当初から飲食バザーを実施していくことは伝えられている。それを受けて各館での公民館まつりの実行委員会で実施するか否かを判断しているため、館ごとに温度差が生まれることとなる。

(委員) 飲食は建物の中ではできないという理解でいいか。役員の食事場所はどうか。役員は館で食事をしていけないことを徹底している。

(事務局) 飲食場所は屋内か屋外の2つになる。屋外だと天候の心配がある。場所について限定はしないので、各館で協議をし、場所を確保できるところで食事をお願いしたい。その場合であってもあくまで1テーブル4人までが原則である。

(委員) 公民館まつりにおいて、来場者の受付時に検温と名簿の記入両方を行うことは大変である。特に、名簿の記入に時間がかかり、人が溜まってしまう。例えば、子どもたちがまとまって来たときに、どうやってスムーズに人を流すかということや、各部屋の収容人数や混雑具合を見る人を置くといったこと等について、後々のために検討してほしい。

(事務局) 入場時の検温や記入は時間を要するが、去年は個々の検温は手作業でおこない、名簿記入を実施していたが、懸念されるような事態はなかった。混雑を避ける工夫として、館内の導線を一方通行にしていた館もあったが、構造的に不可能な館もある。昨年度は、特に込み合ったという報告はないが、なるべく込み合わない工夫をするよう館長会を通じて行っていきたい。

(委員) 図書館では検温・名簿記入・感染対策を役員・ボランティアで話し合い臨機応変に対応してきた。公民館まつりに参加した団体の方々がアイデアや反省点を話し合う場があってもよいのではないか。

(事務局) 館長会を通じて地元の方と話し合うことを提案していく。

4 報告事項

(1) 大府市社会教育関係団体定期報告について (資料No.4)

事務局：資料No.4に基づいて説明

(質問、意見等なし)

(2) まなポート及びまなスポットの利用状況について（資料No.5）

事務局：資料No.5に基づいて説明

（委員）公民館の図書室の利用の傾向は、ヘビーユーザーが多いのか、それともちがうのか。

（事務局）共長公民館の例だと、ヘビーユーザーの子が多いと思うが、他の館を経験した目からみて、全体として図書室で勉強したい子がこの地区は多いと感じている。

(3) 第53回東海北陸社会教育研究会愛知大会について（別冊）

事務局：別冊「開催要項」を用いて説明

（質問、意見等なし）

5 教育長あいさつ

算数・数学講座と、健康お笑い事業には、励ましの声をいただいた。ますます充実し、参加される方々が楽しく、元気の出る企画にしたい。公民館まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響があり、対応が難しいことを改めて思った。対応のために連携が必要なことを感じ、今後に生かしたい。学校も来週から2学期が始まる。1学期は6月頃から学級閉鎖が頻発し、市内全校で学級閉鎖があった。学校が感染の場所になってはいけないので、1クラス3人の感染者が出た段階で学級閉鎖としたため、学級閉鎖が増えた。夏休みになり一息ついた形となった。熱中症対策と感染症対策に1学期の学校は追われていた。2学期が来るが、国が新しい方針を出しており、学級閉鎖を繰り返すと勉強に支障があるので、感染原因が学校でなければ学級閉鎖しなくていいこととなった。しかしながら、感染原因が学校でなければいいという点には慎重に対応したい。給食時の黙食の徹底など感染対策を徹底しているが、校内で感染しない保障はない。新しい方針は、校長会で慎重に審議して受け入れるか検討したい。市の行事や学校行事は、3年ぶりに行える状況で新年度を始めたが、感染して亡くなる方もみえるので、慎重の上にも慎重に事を進めていきたい。

【次回予定】

第3回大府市生涯学習審議会 令和5年2月22日（水）午後3時から
大府市役所 地下 会議室 001・002にて